

申請書類記入上の注意点

食道科認定医認定申請書

- ・申請には、日本専門医制評価・認定機構の定める基本領域の学会が認定する認定医または専門医であることが条件となっています。日本専門医制評価・認定機構の定める基本領域の学会は、食道科認定医制度規則の第9条に記載していますので、ご参照ください。
- ・日本食道学会の会員歴は継続3年以上必要です。入会期間は入会年度でなく、入会日で算出してください。

診療経験一覧表

- ・申請には、申請する前の直近の5年間に25例以上の食道疾患症例の診療経験を有していることが必要です。
- ・診療経験には術者や第一助手等の制限はありません。申請者が該当する症例の診療にどのように関わったかを具体的にわかるように記入してください。
- ・1症例の手術、再発時の治療などの時期が異なる治療は2例としてカウントできます。
- ・所属長は、施設の代表者、あるいは科の代表者（大学の場合は学長あるいは教授）どちらでも可です。
- ・診療経験施設ごとにまとめて記入してください（所属長の署名・捺印は必須）。

業績目録

〈研究業績〉

- ・申請する前の直近の5年間に、研究業績点数表（食道科認定医制度規則施行細則に記載）に基づく算定による10点以上の研究業績が必要です。ただし、対象となるのは食道に関するものに限りません（基礎、臨床は問いません）。指定の医学雑誌および学術集会については「業績基準」を参照してください。
- ・論文は、掲載許可がおりていても、申請締め切り日までに掲載されないものは研究業績として認められません。

〈研修実績〉

- ・申請する前の直近の5年間に、研修実績点数表（食道科認定医制度規則施行細則に記載）に基づく算定による15点以上の研修実績が必要です。ただし、日本食道学会学術集会への参加1回以上、日本食道学会の主催するセミナー受講1回以上を含んでいなければなりません（点数はそれぞれ別にカウントされます）。
- ・研究業績および研修実績には、その業績を証明するものとして、論文別刷や発表学会・内容・発表者がわかるプログラムまたは抄録、学術集会の参加証、セミナー受講証などのコピーを添付してください。

推薦書

- ・申請者自身が本学会評議員である場合は、ご自身で推薦してかまいません。
- ・近隣に評議員がいないなどで推薦が得られない場合は、事務局までご連絡ください。食道科認定医認定部会部会長に確認します。